

# はと 九鳥の峯 みね

No.26  
2012  
12.15

平成24年12月15日



## 大庵十五社宮の千度詣り

### 主な内容

体育祭	2P
グラウンドゴルフ大会	2P
青空市	2P
千度詣り	3P
ガイド活動	3P
高浜ぶどう	3P
消防	3P
寄稿	4P
高浜のいまむかし	4P
編集後記	4P

高浜大庵地区では毎年『千度詣り』の行事が行われています。

10月21日、地域の家々から老若男女が参加し『千度詣り』が行われました。

参加者はそれぞれの想いで『無病息災』を祈願していました。(詳細は3ページ)

## 第42回 高浜地区 体育祭

10月7日(日)秋空のもと、天草総合運動公園グラウンドにおいて、第42回高浜地区体育祭が開催されました。全8地区の選手が集結し、各競技で親睦と融和を図りました。

毎年、演技をお願いしている高浜小学校児童による「ヨサコイソーラン」も、閉校を迎えるにあたり最後の演技となりました。

近年、参加者の減少や高齢化が進み、いかに大会を運営していくかが課題になっています。地域の皆さんのが参加しやすい競技に改変を繰り返しながら、今後、更に活気のある大会として運営できるよう、皆様のご協力をお願い致します。

大会結果は左記のとおりです。

**優勝…白木**

**準優勝…大庵田山**

**三位…元向内峰**



## 高浜地区 グラウンド ゴルフ大会

11月4日(日)天草総合運動

公園において高浜地区グラウンドゴルフ大会が開催されました。毎年恒例の公民館行事として開催されていますが、

今年は例年より参加チームも増え、賑わいを見せました。

なかでも、ホールに1打で入れる「ホールインワン」の達成者数が昨年を上回り、その数なんと21名!



個人の部
優勝 山田逸男さん
準優勝 米田康弘さん
三位 元向B

賞品が足らなくなるというハプニングが起きました…。  
大会結果は左記のとおりです。



高浜地区振興会のプロジェクトとして始まった「青空市」毎月第1・3日曜日の朝に開催されています。

このプロジェクトは、市町合併の折、天草支所の移転に伴つて空いた土地の有効活用と、その場に賑わいを取り戻したいとの願いから始めたものです。現在、青空市の会員数は20余名で活動しています。季節の旬の作物や魚介類を提供したり、ぶどうを販売したりと地域の皆様と一緒に活動が重ねられています。

青空市の運営は、今日に至るまで振興会事務局において行つきましたが、6月に「青空市」の組合を発足し、現在、振興会とは会計を分離独立して行っています。今までどおり、振興会地域づくり部会の一組織としての活動を行つていきますが、組合の独自性・採算性を重んじることとしてより良い「青空市」の運営に取り組んでいます。

新鮮なものが安く手に入る「青空市」へ皆さん是非お越しください。

## 千度詣り

表紙でもお伝えしましたが、10月21日(日)に大庵地区の十五社宮にて、恒例の『千度詣り』が行われました。この行事の起源は、過去、地域に蔓延した天然痘を追い払うためとされており、現在では「無病息災」を祈願するための例祭となっています。



## ガイド活動



ガイドのようす

参加者は、松の葉を手に持つて鳥居から本殿まで昇り、拝殿で待つ長老に1本ずつ手渡しすることを繰り返します。約1時間ほどかけ松の葉が千本に達した時点でお参りが終ります。

この日は、約40人の参加者で千度詣りを行いましたので、一人当たり約25回のお参りとなりました。

120名！

平日ということもあり、ガイド班員が3名程しか集まらないという状況で多数をガイドするのは初めてでした。一

班約40名のチーム分けを行い、ガイドすることになりました。今回、ひとつつのものを一齊に見ることが出来ないという欠点に気づきました。

次回からは、もつと工夫してガイド活動をと思いました。

## 高浜ぶどう

### ～今年1年の活動～

さし木の活動を始めてから、苗が3年目になつた今年の夏、待望の実が生りました。しかし、今夏の長雨と高温多湿の真夏の影響で、ぶどうの葉や実が病気にかかり、8月中旬に実が落ちてしまいました。

丹精こめて育てていただいた方の残念さは一言では言い表せない程だったと思います。

来年に向けての対策をぶどう班全員で検討中です。

今、ぶどうは落葉期に入り伸びた枝だけになっています。

4月に芽を出し、伸びていい枝、葉に楽しみや希望を感じて、5月下旬からは種無しへどうに挑戦し、ぶどうの実の摘果作業、9月の収穫に感動しながらと、手間をかけた分美味しさもひとしおです。

今年もさし木からの苗が育っています。皆さんも育ててみませんか。



## 年末年始における 防火の心得

### 年末年始における 防火の心得

- 逃げ遅れを防ぐために、火災報知器を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防炎製品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、消化器等を設置する。
- お年寄りや体の不自由な人を守るために、近所の協力体制をつくる。

## 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、火災報知器を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、防炎製品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、消化器等を設置する。
- お年寄りや体の不自由な人を守るために、近所の協力体制をつくる。

## 防火チラシ紹介

### ～古田朱音さん～

平成24年度の防火標語「消されない」の図案が募集され、県内から多くの小中学生が応募した中、見事、高浜小学校5年生の古田朱音さんが入選しました。これで昨年に続き、高浜小から2年連続の入選となりました。



温かい善意のご寄付  
ありがとうございます

高浜地区	
(平成24年11月30日現在)	
人口	1,354人
男	625人
女	729人
世帯数	660戸
高齢化率(65才以上)	580人(42.84%)

- 1月3日(木)午前11時、成人式(高浜公民館)
- 1月7日(月)午後5時、おね火とぜんざい会(天中グラウンド)
- 2月17日(日)午前9時、閉校記念式典(高浜小学校)

## 行事予定

香典返し  
川口 庄平様  
(故・イチ子様)白木

寄付金は高浜地区振興会の活動に有効に活用させていただきます。

## 寄稿

ふるさとへ帰る楽しみが二つあります。ひとつ、子供のころから見慣れた海・山ですが、その中でも十三仏から見る夕日が最高です。地平線に揺れ動きながら沈んでいく様は、服の絵そのもので、何回見ても心が和み生まれ故郷に帰った実感が湧きます。

もうひとつは、子供のころ釣をした築港(高浜港)です。そこへ行くと、小アジ・ガラカラブ・チヌ等の魚達が、40年過ぎた今でも相手してくれます。また、行き交う先輩方が気さくに声をかけてくれて、昔話しに時を忘れて話し込む楽しさがあります。

高浜は、昔も今も良い人の宝庫である事を実感します。時間と体力のある間は帰りたいな…。

釣れた魚でイタリア料理を作り、先輩・同級生らと、焼酎・ワインで頂きました。最高に美味しいですね。



木本幸徳(上河内出身)

## 第3回 高浜のいまむかし

3度目の今・昔です。  
今回も2箇所の写真を載せて  
みました。皆さん高浜のどこか  
分かりますか?。

### 編集後記

先日、娘たちとある「子供番組」を見ていました。

するとどこかで聞いた様な抑揚のナレーションが…。そ

したら台所に居た家内も「何か聞いた事のある話し方だね」と。

その番組を最後まで見ていたら、終わり際に「熊本県・天草弁」とテロップに出てきました。

全国放送で天草弁を聞くと何か嬉しいような恥しいような気分に…。

その天草弁で最近の日常会話と言えば、「あよ寒んかなあ」と挨拶が交わされる師走です。

今年の冬は平年に比べて寒さが厳しくなるとの予報です。でもそんな冬の寒さに負けず、また師走の気忙しさに負けず、元気で今年を乗り越えたいものですね。

今年は(も)、年の瀬近くになつて様々な出来事がありましたが来る二〇一三年を皆さんのがご家族揃つて元気で迎えられることをお祈りします。

“良いお正月を”

